

二つの得度式

佐藤俊明

賀武徳君得度

此關山門十五年
龍樓鳳閣誇美妍
麟兒得度点晴全
照破大光界三千

昭和五年、年九月六日

賀武後四



喜びの朝に

昨年九月六日、山主の長男武徳君（小学六年生）の得度式が行なわれた。幸いにも朝はカルチュアセンターに出講の日だったので、私も参列することができた。山主御夫妻はもとより、善光寺檀信徒の皆様にも大きなよろこびであることに思いを致し、一偈を賦し、禿筆を弄して祝意

を表した次第。

武徳君の得度を賀す

此に山門を關かんいて十五年

龍樓鳳閣、美研びげんに誇ほこる

麟兒得度りんじとくどして、点晴てんせい全いした

照破しょうはす大光だこう、界三千かい

方丈様がここに寺を開いて十五年

しかならないが、立派な建物が実に美しい。

に美しい。

龍樓……高殿の楼門

鳳閣……楼閣を形容した言葉

美研……すつきりと美しいこと



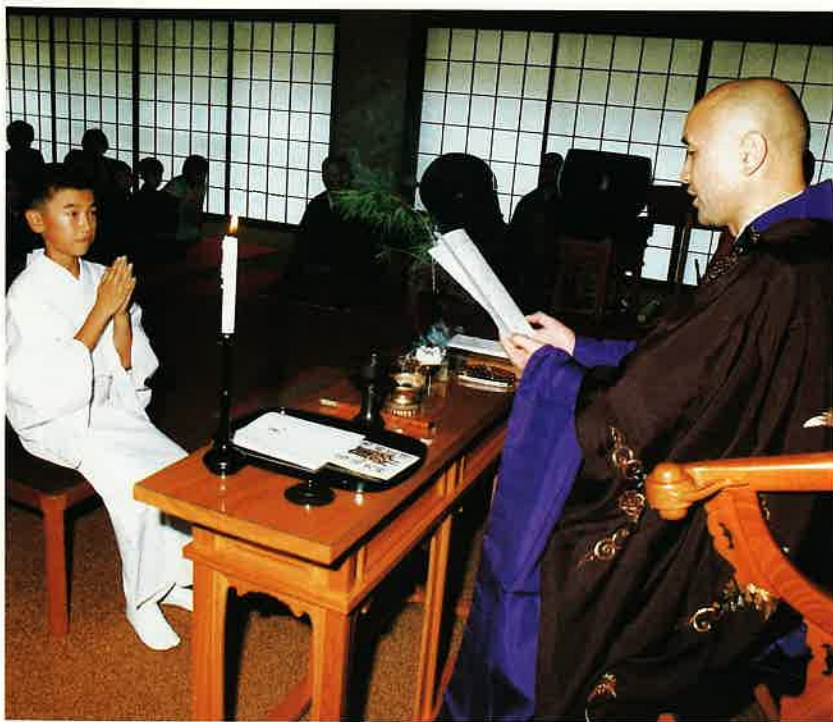
建物が立派になったこの時、すぐれた長男が、後継住職たるべき第一歩として得度の式を挙げたので善光寺の基礎は磐石のものとなった。

麟児……麟児、すぐれた少年
点晴……画龍点晴。昔ある画家

が龍を描いて、その晴
を書き込んだところ、

風雲生じ龍は忽ち天に
上ったという故事から、
事が完成する最後の仕
上げをいう。

そして大光（武徳の僧名）はその
名のごとく全世界を照らすであ
う。



その1 善光寺での得度式

山主の徒弟成田泰夫君（二七歳）は、立正大学英文科卒。本師の日本一周行脚の勝蹟にならない、自転車て日本を一周し、ロス禅センターで研修を積むこと一年有半。J S R C（曹洞宗東南アジア難民救済会議）のボランティアとして難民キャンプに入り、救援活動——教育の振興、民権文化の復興——に従事すること三年半。（この間のJ S R Cの活動に対して、国連西南アジア難民救済高等弁務官より感謝状が寄せられている）。昨冬キャンプを出て、出家得度の準備をすすめ、去る十二月七日、ワットパクナム住職プラ・タンマテラーラーシヤマホームニを戒師として得度を受け、上座部佛教の僧侶となり、二二七の戒法をまもるきびしい僧院



その2 タイ国ワットパクナムでの得度式



生活に入っている。
得度式の様子については成田君の
手記を読んていただきたい。